

ゆめのみ

選ぶ責任 選ばれる責任

前期も残り2週間となりました。様々な場面で前期の振り返りをしているところです。入学してからの半年を、生活面や学習面で振り返るとどのように感じますか。金曜日には後期の学級役員も決めていきます。これまでの自分とこれからの自分を、「点」で考えるのではなく過去の延長線上に未来があるのだと「線」で考えたいものです。そうすることで後期の目標も立てやすくなるのではないのでしょうか。

生徒会役員選挙

明日は後期生徒会の立会演説会と選挙が行われます。附属中学校の生徒会の任期は1年。つまり、今回選ばれた人たちは来年の9月末までその責務を果たすこととなります。

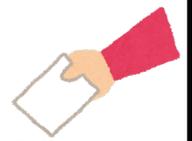
今回1年生からも2名の生徒が立候補しました。生徒会長にC組の小原めいさん。そして副会長にはA組の米村碩人さんです。2人とも朝や昼休みに校内で選挙活動を行ってきました。これからどんな学校を作りたいか。どのような生徒会を目ざしていきたいのか。多くの生徒に気持ちが伝わるよう一生懸命に活動してきました。

小学校では生徒会(児童会)の選挙を行ったことがないかもしれません。みなさんにとっては初めての選挙となるわけです。ですので、ここでは選挙を行うにあたって大切な「責任」についてみなさんに伝えたいと思います。

まずは「選ばれる責任」です。1年生の2人を含め、2年生からも多くの生徒が今回の選挙に立候補しました。1人1人が自分の言葉で思いを語っています。どんな人であっても未来の理想や将来のビジョンは語れます。ですが、それと同時に私達が求めたいのは、その人自身のこれまで歩んできた道であり、その人自身の現在の有り様です。過去と現在と未来がつながる「線」で物事を語っているか。誰もが立候補する権利はありますが、立候補には先ほど述べたような「責任」が伴うものだとは思います。今回立候補した生徒はみんなその責任を自覚していると思います。特に1年生の2人はわずか半年の学校生活から思いを積み重ね、これから1年間を生徒会のために尽くそうと立ち上がりました。その勇気に私達は敬意を払わなければならないと思います。

つぎに「選ぶ責任」です。選挙では1人1人に投票権が与えられます。誰かに投票すると言うことは、同時に誰かを選ばない選択をしたということです。安易に「友だから」といったことで選ぶのではなく、真剣にしっかりと考えて、一票を投じてください。

最後に、投票の結果で選ばれた生徒会の生徒に対しては全員でしっかり支えていく「責任」を果たしましょう。「この人には投票してないから」ではなく、投票で出された結果にはみんなが理解を示し、精一杯支えることが大切だと思います。選挙は明日。1人1人が立会演説会をしっかり聞き、大切な一票を投じましょう。



今週の予定

9月26日(水)	立会演説会・選挙	
9月27日(木)	教育実習最終日	
9月28日(金)	学級役員選出	後期の学級役員を決めます。
10月1日(月)		

